

令和元年度 第2回五霞町総合教育会議次第

日 時 令和2年2月20日(木)

午前10時30分から

場 所 五霞町中央公民館 3階 青少年研修室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

- (1) 五霞町教育大綱(案)について
- (2) 五霞町立学校のあり方検討会について
- (3) その他

4 閉 会

五霞町教育大綱（案）

令和 2 年 2 月

五 霞 町

五霞町教育委員会

1 大綱策定の趣旨

平成26年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が一部改正され、平成27年4月から施行されました。

法改正の趣旨は、教育の政治的中立、継続性・安定性を確保しつつ、教育行政における責任の明確化や迅速な危機管理体制の構築、さらには町長と教育委員会との連携強化を図ることとされております。

そして、町長の教育行政に対する責任を明確化した上で、町長と教育委員会の連携のもと、より民意を反映した教育行政の推進を目的として、地域の実情に応じた総合的な教育に関する施策の大綱を策定するよう求めています。

こうしたことから、五霞町における教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものです。

2 大綱の位置付け

教育基本法第17条第1項に規定する基本的な方針を参酌し、平成28年2月に策定した五霞町教育大綱に、令和2年3月に策定した第6次五霞町総合計画（第Ⅰ期基本計画）を踏まえて改定するものです。

3 大綱の期間

第6次五霞町総合計画（第Ⅰ期基本計画）との整合性を図るため、令和2年度から令和6年度年度までの5年間とし、教育を取り巻く状況の変化や施策の進展状況などを踏まえ、必要に応じて見直しを行うこととします。

4 基本目標

第6次五霞町総合計画（第Ⅰ期基本計画）の中であわせて策定した「五霞町教育振興基本計画」に基づき、児童・生徒の生きる力を育む教育内容や教育環境などの充実とともに、安全で安心のできる学校づくりに努めます。

また、町民が気軽に学習やスポーツ、文化芸術などの活動へ参加できる環境づくりを進めます。

さらには、本町の歴史や文化の保存、振興にも努めます。

5 基本方針

(1) 時代に対応した学校教育の推進

① 確かな学力・健やかな体・豊かな心の育成

(教育内容の充実)

児童・生徒一人一人に配慮しながら個性を生かす教育を基本に，基礎的・基本的な学力の確実な習得と，豊かな感性を育む人間形成，健やかな体の育成を目指しながら，それぞれのバランスがとれた教育を推進します。

新学習指導要領を着実に実施するとともに，全国学力・学習状況調査の結果を活用して教育施策・指導の改善・充実を図り，児童生徒の確かな学力を育成します。

(道徳教育の推進)

道徳教育の推進や様々な体験活動，読書活動の充実を図り，児童生徒の自己肯定感・自己有用感を育成します。

(健康の推進)

健康の保持増進や薬物乱用防止教育等の保健体育の教科学習，学校における体育活動を通じてスポーツをする楽しさの気付きなど，児童生徒が生涯にわたって健康な生活を送るために必要な力を育成します。

(食育の推進)

児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう，各教科を通じた食育と学校給食を活用した実践的な指導を行います。

(幼児教育の推進)

子供たちの年齢に応じた活動や教育が行われるように，町内の認定こども園における幼児の教育環境及び教育内容の向上の促進に努めます。

(保幼小中連携の促進)

幼児と児童の交流や教諭等の合同研修などを実施し，幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図るとともに，小・中学校間の連携による一貫教育の取組を推進します。

② 新しい時代に活躍する人材の育成

各教科の指導において、ICT機器を積極的に活用し、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに、情報モラルについての教育も推進します。

コンピューターに意図した処理を指示することを体験するプログラミング学習を行うことで、論理的に考える力を育成します。

小学生からの外国語教育の強化を図るとともに、地域の伝統・文化を学ぶことを通して異文化への理解を深め、将来グローバルに活躍する人材を育成します。

③ 社会的自立を促す体験学習の推進

職場見学・職場体験を取り入れたキャリア教育を推進し、職業的自立に向けた能力・態度を育成します。

ボランティア活動や人権教育を通じて、地域社会の一員として自立を促します。

(2) 学校教育推進のための基盤づくり

① 持続可能な教育体制の確立

教員、事務職員、スクールカウンセラー等の多様な人材が連携・分担し、子供たちに必要な資質・能力を身につけさせることができるチームとしての学校の実現に取り組み、指導体制・指導環境の整備に努めます。

研修等の充実により教職員の資質能力の向上を図り、児童生徒の新しい時代に求められる資質・能力を育成するため、授業の工夫・改善を重ね、主体的・対話的で深い学びの実現に取り組みます。

いじめや不登校対策については、子供たちや保護者が持つ悩みや心配事に迅速かつ的確に対応し、学校、教育委員会、関係機関が連携し、相談・指導体制の充実に努め、子供たちの健やかな成長を支援します。

② 安心・安全な教育環境の確保

登下校時や校内において児童生徒が安全に過ごす環境づくりに取り組むなど、安全性を確保した教育環境の構築を図ります。

子供たちが安全で快適な学校生活が送れるよう、教材等の教育環境や教育施設の老朽化対策等整備充実を計画的に行っていきます。

子供たちが同年代の多く仲間との交流や切磋琢磨を通して成長できるよう、小・中学校を通した一貫教育を推進するとともに、小学校の統合を検討していきます。

③ 多様なニーズに対応した教育の支援

経済的な理由により就学が困難な児童生徒に対する援助を行うとともに、高等学校等への進学が困難な人への経済的な支援の検討を行います。

障害のある子供と障害のない子供が可能な限り共に十分に教育を受けられるよう、インクルーシブ教育システムを構築し子供のニーズに応じて多様で柔軟な仕組みを整備します。

不登校児童生徒の個々の状況に応じた支援や学習機会の確保に努めます。

(3) 生涯学習の充実と豊かな歴史文化の継承

① 家庭・地域の教育力の向上

社会性や人間性豊かな子供たちの育成を図るため、学校・家庭・地域や保護者間の連携を強化しながら、家庭教育学級の内容の充実に努めます。

青少年自身が、多様な交流や自主的活動を通じ積極的に地域社会活動に参加しながら、自立心や協調性、社会性などを身に付けられるよう、家庭・学校・地域が連携しながら支援していきます。

ボランティア等の地域活動などを通じて、まちの将来を担うリーダーの育成を図ります。

家庭・学校・地域・行政・警察が一体となって、青少年に有害な図書やインターネット情報等を排除する環境浄化活動や、喫煙・飲酒・薬物乱用の防止などの啓発・教育活動、青少年への声かけや地域でのあいさつ運動の実施など青少年の健全育成活動に努めます。

② 生涯学習の充実

社会環境や住民の生活スタイルの変化等により多様化する学習ニーズに応えるため、地域・学校・行政が一体となった生涯学習体制の確立を目指します。

住民の多様なニーズに即した様々な講座・教室の開設と内容の充実に図りながら、生涯学習に関する情報提供の充実に努めます。

高齢者がタブレット端末やスマートフォンを活用できるよう、ICT関連の入

門講座などの充実を図ります。

生涯学習活動団体の主体的な活動の支援を行うとともに、これまでの学習の知識・技能や経験を生かし、生涯学習活動の担い手となる人材の発掘やリーダーの育成を行います。

中央公民館など各種生涯学習施設の適切な管理運営と学習施設の機能の充実に努めながら、住民が自ら行う生涯学習の拠点として学習環境の充実を図ります。

県立図書館などの関係機関と連携を図りながら、利用しやすい環境づくりに努めます。

③ 文化・芸術・スポーツ活動の充実

子供たちが郷土への誇りと愛着を持てるよう、地域と協力し郷土芸能の保護に努めるとともに、地域のイベント等への参加を通じ後継者として育成し、地域文化を伝承していきます。

住民が健康増進と生きがいづくりのために生涯スポーツ活動に取り組むことができるよう、また、障害者スポーツなどの情報発信に努め、誰もが気軽に、スポーツに親しめる環境づくりを推進していきます。

住民が様々なスポーツに取り組めるよう、活動や練習場所の確保などを支援します。

学校体育施設を積極的に開放し、地域に開かれた施設環境を進めます。

スポーツを通じた交流や団体及びリーダー・指導者の育成・支援を進めます。

B&G海洋センターや既存施設を有効活用するため修繕等を計画的に推進し、諸施設の効率的な維持管理に努めます。

④ 文化財の保護・活用

発掘された埋蔵文化財の保護・記録保存や文化財保護のため、県・町指定文化財の保護に努め、文化財の収蔵及び展示施設についての検討を行います。

現存する歴史的資料等の保存・整理を行い、新出文書等の掘りおこしや町内の文化財調査を推進します。

歴史講座の開設やまちのホームページに文化財を掲載するなど、住民が文化財や歴史資料等に触れる機会を提供します。

6 関係法令条文（抜粋）

（1） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律〔平成 26 年 6 月 20 日改正〕

（大綱の策定等）

- 第 1 条の 3 地方公共団体の長は、教育基本法第 17 条第 1 項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下単に「大綱」という。）を定めるものとする。
- 2 地方公共団体の長は、大綱を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、次条第 1 項の総合教育会議において協議するものとする。
- 3 地方公共団体の長は、大綱を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。
- 4 第 1 項の規定は、地方公共団体の長に対し、第 21 条に規定する事務を管理し、又は執行する権限を与えるものと解釈してはならない。

（2） 教育基本法〔平成 18 年 12 月 22 日法律第 120 号〕

（教育振興基本計画）

- 第 17 条 政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について、基本的な計画を定め、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。
- 2 地方公共団体は、前項の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。

第1回五霞町立学校のあり方検討会会議録

日 時 令和元年10月30日（水）

午後1時30分から

場 所 五霞町中央公民館 A 研修室

出席者 五霞町立学校のあり方検討会会員 21 名

各学校教務主任 3 名

教育委員会 教育長 事務局職員 6 名

猪瀬教育次長 ただいまより、第1回五霞町立学校のあり方検討会を始めさせていただきます。初めに、教育長よりご挨拶を申し上げます。

千葉教育長 教育長挨拶

猪瀬教育次長 ありがとうございます。続きまして、皆様初めてお集まりいただきましたので、自己紹介をお願いします。

－出席者自己紹介－

猪瀬教育次長 それでは、4 役員選出に入らせていただきます。教育長の進行によりお願いいたします。

千葉教育長 それでは、役員が決まるまでの間、進行を務めさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。資料の最後に五霞町学校のあり方検討会設置要綱がありますのでご覧ください。第5条 検討会に会長及び副会長1名を置き、会員の互選により選出する、とございます。いかがいたしましょうか。

－事務局一任の声あり－

千葉教育長 事務局一任というご意見をいただきましたがよろしいですか。それでは事務局から案を申し上げます。

内田主幹 それでは事務局案としまして、会長に学識経験者であります青木武明様、副会長に青少年相談員連絡協議会会長鈴木昇様を提案いたします。

千葉教育長 事務局から会長に学識経験者 青木武明様、副会長に青少年相談員連絡協議会会長鈴木昇様と提案がありました。皆さんいかがでしょうか。よろしければ拍手を持ってご承認いただければと思います。

－多数拍手あり－

千葉教育長 ありがとうございます。それでは会長に青木武明様、副会長に鈴木昇様と決定しました。ここで進行を交代させていただきます。皆様進行にご協力いただきましてありがとうございました。よろしく

お願いいたします。

- 猪瀬教育次長 それではここで青木会長からご挨拶をいただきたいと存じます。
- 青木会長 会長挨拶
- 猪瀬教育次長 ありがとうございます。それでは続きまして、5 協議事項に入らせていただきます。青木会長の進行によりお願いいたします。
- 青木会長 それでは早速協議事項に入っていきたいと思います。(1)五霞町立学校のあり方検討会～なぜ今なのか～の説明をお願いします。
- 篠崎副主幹 資料に基づき、五霞町立学校のあり方検討会～なぜ今なのか～について、説明。
- 青木会長 五霞町立学校のあり方検討会～なぜ今なのか～ということで様々な角度から説明いただきました。もう少し聞きたいことなどがありますか。よろしいでしょうか。それでは(2)今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。
- 篠崎副主幹 資料に基づき、今後のスケジュールについて説明。
- 青木会長 今後のスケジュールについて説明いただきました。令和 2 年 10 月までの 1 年間ということですが、凝縮した話合いをしていかなければならないと感じています。今までの話の中では、最終的には学校の形、小中一貫にするとか統合するといったところと、もう 1 点が教育のあり方が大きな課題だと思います。それについて教育長から何かありましたらお願いします。
- 千葉教育長 今、会長がおっしゃったとおりです。よろしくお願いいたします。
- 青木会長 それでは今後のスケジュールについてはよろしいでしょうか。それでは続きまして(3)五霞町立学校の現状について、アからウまで説明をよろしくお願いいたします。
- 中川指導主事 資料に基づき、ア 町の学校教育について説明。
- 青木会長 ありがとうございます。ご報告いただきましたが、何かお気づきの点、聞いておきたい点がありましたらお願いします。複雑になってきましたね。先生方は大変だと思います。
- 質問 1 8 ページの取組みの中で特別の教科として道徳とありましたが、これについて簡単に教えていただけますか。
- 中川指導主事 道徳というのは、今までは教科ではありませんでした。教科とそれ以外の違いで分かりやすいのは教科書があるかどうかです。以前道徳の授業で使っているのは資料集ということでした。ところが今回からは、教科書を使うことになりました。教科の場合、評価として、普通の評価で言うと A、B、C や 3、2、1 等をつけられます。道徳は教科になって評価しますが、A、B、C や 3、2、1 といった評価は馴染まない。そのため文章による評価になります。これが

特別の教科と言われる所以です。他にもありますが、顕著なものはこの２つとなります。

質問２ 何年生が対象ですか。

中川指導主事 義務教育９年間すべてとなります。

質問３ 不登校、引きこもりも多いと思います。成果と課題の中で、長欠(不登校)児童生徒の解消とありますが、どのような努力をされていますか。

中川指導主事 まず長欠と不登校についてですが、長欠は病気等で来られない生徒も含まれます。不登校とは、それ以外の理由で来られなくなっている子ども達のことになります。主に学校として課題になるのは不登校です。家庭訪問をしたり、電話連絡等を継続的にしていただいて、登校再開ができるように大きな努力をしていただいております。後は関係機関との連携を図り、解消に向けて取り組んでおります。

意見１ 五霞町では義務教育９年間が終わると、県境の町で高校がないので、高校進学等の際に適應することが困難になることが懸念されます。小学校、中学校の学校教育の中で、先生も家庭も地域でも不登校を無くすように努力をしてほしいと思います。

質問４ 原因などはいくつもあるのでしょうか。主になんでしょうか。

中川指導主事 調査によると一番大きな原因は人間関係、友達関係となっています。

質問５ 友達関係がうまく保てなくなるその原因というのは为什么呢。その辺まで遡っていかないとなかなか解決までいかないのではないかという気がします。小さい頃から多くの子どもたちと遊んだりしていない、そういったことが根本的な原因になってしまうのではないのでしょうか。

中川指導主事 私ももっともだと思います。コミュニケーション能力の育成が充分なされていないために友人関係に悩んでしまい不登校になってしまうかと考えています。

質問６ もっと掘り下げると、子育ての保護者にまで行ってしまう。どうしても今はお勤めしなければならない。子どもが親にいてほしい時間にはなかなか帰れないという原因もある。子ども達の間ではなかなか思うように行かないと、学校が面白くなかってしまい、それが不登校となってしまうのではないか。なかなか難しい。社会環境も影響してくると思うが、不登校の数値的な推移というのはどうなのでしょう。ここ１０年ぐらいでどんな推移をしているのでしょうか。簡単をお願いします。

中川指導主事 簡単に申し上げますと横這いです。

青木会長 ありがとうございました。他に何かございますか。無ければ次の
イ 各校の現状についてお願いします。

木村教務主任 資料に基づき、五霞東小学校について説明。

南城教務主任 資料に基づき、五霞西小学校について説明。

奥井教務主任 資料に基づき、五霞中学校について説明。

青木会長 ありがとうございました。引き続いて次のウ 保幼小中連携につ
いて説明をお願いします。

高橋社会教育主事 資料に基づき、保幼小中連携について説明。

青木会長 ありがとうございました。それでは(1)から(3)まで説明がござい
ました。全般について皆さんからご質問、あるいはご意見ございま
したらお伺いしたいと思います。

質問7 最後に保幼小中連携の話がありましたが、大変いい取り組みだと思
います。資料1の5ページにあります「基本的なしつけを受けない
ままに学校に入学してくる子どもの増加」という課題がありますが、
ほとんどの子ども達が幼稚園、保育園に通ってらっしゃると思いま
すので、家庭でのしつけということなのか、もう少し詳しく説明し
てもらえますか。

篠崎副主幹 資料1の5ページにありますのは、五霞町だけの課題としてでは
なく、全国的な課題として挙げさせていただいているものです。基
本的には家庭ということになると思います。

高橋社会教育主事 しつけを受けないまま、というのは全体的な傾向ではあるので
すが、五霞町では家庭教育学級等で自己肯定感、自分自身を大切に
するところから、しつけでこうなさいというのを家庭に押
しつけるということではなく、気づいていただけるような話をして
います。また、訪問型の家庭教育支援を今年度11月からスタート
します。就学前、年長児のご家庭を全戸訪問させていただきまして
入学前まで家庭の中でこういったことが必要ですと、情報提供し
ていきます。訪問する際に保護者に伝える機会がありますので、こ
の会議の中で何かご意見があればいただきたいと思いますのでよろ
しくお願いします。

意見2 一番大切なことですよね。今年から学校に上がる前の家庭を全戸
に訪問されるのですね。非常に良い取り組みだと思います。保護者の
方もお仕事で非常に忙しい中、手が抜けてしまうということもあろ
うかと思います。うまくフォローすることは大事なことでと思いま
す。

意見3 今の説明を聞いていても、今の子どもたちは恵まれていると思い
ました。学校に何う機会も多いのですが、子ども達も生き生きとし

ていて、うらやましいと思っております。ただ、先ほどの話の中に、家庭教育、基本的なしつけを受けないまま学校に入学する、これは今のお父さん方、お母さん方を育てたのは私達なのです。私たちの教育が子ども達にしっかりできていなかったからだと思います。その子達が親としてしっかりとした教育ができていないのかなと思いました。

しかし、子どもに罪はないので、せっかくこういった機会を得ましたので、よりよく子ども達を育てていけるような話し合いができれば最高だと思っております。

意見4 少なくなるばかりの数字が出ていますが、外国の方が入ってきて、学校教育の中でもメリット、デメリットがあると思います。グローバル化といっても、日本で生まれ育った外国の方は、英語は話せない。そういう子ども達も相対的に住みやすい町になってほしい。結婚できないというのも少子化に拍車をかけていると思います。また、道徳教育の中で生きるということを真摯に語りかけてほしいと思います。

青木会長 ありがとうございます。他には何かございますか。それでは(4)その他に移りたいと思います。事務局からお願いします。

篠崎副主幹 資料に基づき、その他として会議の公表方法等について説明。

青木会長 ありがとうございます。それでは公表については事務局から説明のあった方法でよろしいですか。それでは説明のとおり公表していきたいと思います。その他、何かございますか。

質問8 今後のスケジュールということで説明がありましたが、次回がいつ頃になるか、これだけの人数ですから皆さんの都合をつけるということは難しいと思います。皆さん予定もありますので、いつ頃になるか示していただいた方がいいと思います。

青木会長 予定についてご意見いただきましたが、大まかな日程について事務局からお願いします。

篠崎副主幹 それでは、それぞれ予定している月の下旬でできたらと考えております。時間については、よろしければ今回と同様で午後 1 時 30 分から午後 3 時頃まででできたらと考えております。具体的な日程につきましては、調整してご連絡したいと思いますのでよろしくお願いいたします。第 2 回検討会については、1 月の最終週ということでもよろしいでしょうか。

－はいという声あり－

青木会長 それではその月の最終週ということでご理解いただければよろしいかと思います。それと各団体から代表の方がお見えになっている

と思うのですが、もし所用があって欠席される場合は、代理の方を出していただければと思うのですが、事務局はいかがですか。

猪瀬教育次長 よろしくをお願いします。

青木会長 ぜひ、よろしくお願いしたいと思います。これで今日予定している協議事項は終わります。事務局へ進行をお返しします。

猪瀬教育次長 青木会長、進行いただきましてありがとうございました。最後になりますが、鈴木副会長からご挨拶いただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

鈴木副会長 副会長挨拶

猪瀬教育次長 ありがとうございました。それでは最後になりますが、本日の資料の一番下に感想用紙を用意しております。今回の会議は情報共有として説明が中心の会議となっておりますので、感想や意見のご記入をいただければと存じます。記入していただいた内容につきましては、次回の第2回検討会に反映させていただき、会員の皆様へ共有させていただきたいと思います。2、3分ほど時間を取らせていただきますのでご記入をよろしくお願いいたします。

－感想用紙に記入－

青木会長 今日は第1回目でしたが、次回はできるだけ畏まらないでご意見を出していただけるように私も頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。総理大臣も、教育は国の根幹だと言っておりますし、教育が一番大事だと私も思っておりますので、1年という限られた時間ですが、皆様も意見を出していただいて、この会議が有意義なものになりますことを祈念申し上げまして今日は閉じたいと思います。ありがとうございました。

猪瀬教育次長 長時間にわたりましてありがとうございました。以上をもちまして、第1回五霞町立学校のあり方検討会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

午後3時20分に会議は終了した。

五霞町立学校のあり方検討会

春日部市立江戸川小中学校視察報告

1 日 時 令和元年 11 月 25 日（月） 午後 1 時 30 分～午後 3 時

2 視察内容 (1) 春日部市立江戸川小中学校の特色について
(2) 施設見学

3 視察人員 五霞町立学校のあり方検討会会員 15 人
五霞町教育委員会 教育長 事務局職員 3 人 合計 19 人

4 春日部市立江戸川小中学校の概要説明（校長）

- ・準備段階から先生方は大変苦労されたが、しっかり準備していただき、本年 4 月に開校した。
- ・お子さんは順応が早い。
- ・地域、保護者の協力は不可欠である。
- ・統合前は児童が 3 人のクラスがあった。運動会も地域の方、保護者が多い雰囲気で行っていた。複式学級になるところを、市費、市の職員として先生を配置し複式学級を回避した。現在も 4 年生が 11 人、5 年生が 13 人であるが、今年度の運動会は活気が出たという反応が多かった。
- ・検討から開校まで 5、6 年かけてできた学校である。
- ・1 年生と 7 年生時に学校を選択することができる。
- ・大きい特徴は 4 年（ジュニア）・3 年（ミドル）・2 年（ハイ）制で、小中一貫校では、全国的に見ても 1 番広がっている教育課程形態である。
- ・ミドルは半分の教科が教科担任制をとり、部活動に参加できる。
- ・時間割はミドルから 50 分授業で行い、昼休みなどの時間は全教育課程を合わせている。
- ・1 年生と 9 年生が同じ場所で遊ぶ・関わることで大きな効果がある。表情が柔らかく、下の子の面倒を見ている。
- ・異学年交流は、学年の組み合わせで様々な効果を得ている。
- ・ランチルームでは、富多神社の神楽練習、放課後児童クラブ、オープンスペース等に使用している。
- ・縄跳びでは、埼玉県なわとび選手権大会で 6 人が優勝した。学校の特色としては続けることが大切であると感じている。
- ・水泳授業は、スイミングスクールと連携しバスで送迎をしている。
- ・学区は広く、歩いてくるのは不可能な場所がある。今年度は、民間委託により 2 台のスクールバス送迎をしている。来年度は人数が増える見込みのため、3 コースとなる予定である。



5 質問事項への回答

(1) 小学校2校、中学校1校の現状維持を諦めざるを得なかった理由

(2) 小学校統合に留まらず、小中一貫校とした要因

(回答：春日部市教育委員会)

- ・(1)、(2)については、地域の方に慎重に協議をいただいた。事務局から方向性を示してはいない。
- ・3校とも長い歴史がある中で、複式学級が見込まれるほど児童数が減少した。
- ・PTA、地域の方々からなる、望ましい学校を検討する組織を立ち上げ、複式学級を回避したいこと、小学校だけの統合だと将来的な減少を止められないのではないか、という意見から義務教育学校を目指してほしいと教育委員会へ具申しいただいた。

(3) 小中一貫校の設立で学校現場が配慮した事項

(回答：江戸川小中学校長)

- ・スムーズに統合するためには、1年生から9年生までの制度をどううまく活用するか。小中一貫校であれば、小学校、中学校別々ではできないことができる。
- ・学校行事が小学校、中学校それぞれあるため、今までの通りやろうとすると大変なことになる。うまく組み合わせて、実際やってみて分かることもあり、途中修正して議論しながら進めている。
- ・小学校と中学校の文化を摺り合わせていくことも配慮した。
- ・地域の支援いただいており、地域の方々に喜んでいただけるようにすることも配慮した。
- ・運動会では、駐車場の確保が新たな問題となった。対応中であるが、まだ完璧には対応できていない。
- ・子どもたちが明るく元気に過ごせることが一番である。

(4) 各校のPTAや学校へのサポート体制の融合で配慮した事項

(回答：江戸川小中学校教頭)

- ・有志に集まっていたき、義務教育学校後援会発足素案を作成した。

資料：江戸川小中学校後援会発足の経緯

(5) これまでの地域コミュニティから新地域コミュニティへの移行で配慮した事項

(回答：江戸川小中学校長)

- ・コミュニティ、地域のつながりは強いので、大切にしながら進めた。
- ・あいさつ回りをして顔を覚えてもらい、コミュニケーションが取りやすくなった。

(6) 小中一貫校の設立による児童生徒の変容、成果

(回答：江戸川小中学校長)

- ・子どもたちは順応性が早い。
- ・昨年から準備は始めていた。横・縦のつながり、仲間という意識が強い。
- ・小規模特認校のため、学区外から通学している子をどう巻き込んでいくか。コミュニケーションの場作りを大事にしていきたい。

6 校内巡回(14:15~14:38)

- ・増築分ジュニア棟では、校庭側テラスに下駄箱を配置するなど成長段階に配慮した工夫が見られた。



- ・統合までの各校の歴史や校旗が展示されており、地域や成り立ちを大切にしていると感じられた。



7 質疑

(質問1) 授業参観は全ての学年を1日で行うのか。兄弟がいると保護者は大変ではないか。

(校長) まとめて行うのではなく、ジュニア、ミドル、ハイを組み合わせ、分けて行っている。

(質問2) 進学指導については。

(校長) 不利があってはならない。他の中学校と同様に対応している。35人、40人といった学級より丁寧に対応できている。様々な学校を志望し、あらゆる学校に行ける選択肢がある。

(教頭) 少人数を活かして指導している。

(質問3) 農村地帯は少子化が厳しい。今日は統廃合だけでなく新しい一貫教育を勉強させていただいた。春日部市で参考とされたところを教えてください。

(教委) 平成23年度から春日部教育委員会は、地域を限定せずに特色ある教育づくり及び適正規模について検討し、小中一貫教育及び学校再編に関する基本方針を決定した。市内13校区で説明会を行っている。今年4月1日に市内武里南部地域でも廃校があった。平成28年度に義務教育学校が制度化され、栃木県小山市、茨城県水戸市を参考とした。

(質問4) 通学はすべてスクールバスで送迎なのか。

(校長) 近所の場合は徒歩で通学している。

(質問5) 登下校の見守り活動はあるか。

(校長) バス停までは保護者が送迎を行っている。到着時間は周知している。バス停は300m以内



にできるよう設置している。

(質問 6) 迎えに行けない場合は、放課後児童クラブで対応か。

(校長) 子どもだけで帰る場合もある。

(教頭) 子どもの安全を守る会という高齢の方達の組織もあり、見守っていただいている。保護者が車で送迎している場合もある。

(質問 7) 部活動はどのように行っているか。

(校長) 5 年生から参加できる。希望制で 5, 6 年生の半分が入部している。部活動数は絞っていて、ない部活動は地域のクラブに参加している。主に活動するのは中学生で、5, 6 年生は準備段階である。

(質問 8) 英語に力を入れているということですが、ALT の配置はいかがか。

(校長) 各中学校に 1 名配置されている。

(指導主事) 近隣の小学校を 2, 3 校受け持っている。

(校長) 義務教育学校導入により、校長は小学校卒で、中学校の校長が減となる形になるので、加配として中学校へ英語の先生に入っていただいている。校長と教育委員会で打ち合わせた。

(教頭) JET も週に 1 回活動している。

(質問 9) ずっと同じクラスというのはいい面も課題もあると思う。

(校長) どこでも起こりうる問題として、人間関係が崩れると大変である。分かった段階で丁寧に対応している。糧にして成長して欲しい。今のところ、対応できなくなるようなことはない。今後も丁寧に対応をしていきたい。

(教頭) 人数が少ないという弱みを強みにするのが、縦割りであ。ああいうお兄ちゃんになりたい、お姉ちゃんになりたいという目標にもなる。

(質問 10) 給食はどうしていますか。

(校長) センター方式です。

(質問 11) 児童生徒の力関係は定着しないか。

(教頭) 9 年生、6 年生、2 年生等、それぞれリーダーシップを取れる場面を作っている。

(教頭) 小学校と中学校が一つになったことにより、生徒指導も組織対応できるようになった。



会員の皆様からの感想

○学校の説明について

- ・児童生徒はすぐに順応するということ、又、保護者の協力は必須であるということ。特に保護者、地域の意見をよく聞いて、皆が納得できる方向を示していければ良いと考えます。
- ・丁寧な説明でよく分かりました。
- ・大変参考になりました。
- ・具体的に話を聞くと課題が多く、統合などを実現するには時間がかかりそうだと実感しました。
- ・開校に当り5年位の準備が必要であったという話に改めて大変さを感じた。
- ・教育課程についての説明が明確で分かりやすかった。
- ・特色ある教育活動の内容が興味深く感じられた。
- ・校長先生をはじめ先生方の説明の仕方が分かりやすく、とても有意義でした。
- ・一貫校のあり方、意味、将来性を理解できた。
- ・9か年の分け方（ジュニア・ミドル・ハイ）が印象的でした。
- ・大変参考に成りました。これからの五霞を考えた時、東西の統合はさけられないと思いましたが、決して悲観的にだけ考えるのではなく、今日の説明の様に地域、保護者、そして子供達の将来を考えたい話合いを続ける事の大切さを実感した次第です。
- ・早期からの教科担当、9か年を見通した指導、異学年交流等の説明を受け、創立からまだ日が浅いのでわからないところもあるが、既存の学校と違った効果が期待できるのではないかと感じた。
- ・校長先生からの概要説明を戴き、全体の様子を把握できた。
- ・小規模学校の準備を入念に対策をしてスタートしているので参考になりました。
- ・統合した各学校の歴史を大切にしていると感じました。

○子どもたちの様子

- ・すれ違うと明るくあいさつしてくれたので、とても素直な子どもたちだと感じました。
- ・授業も楽しそうでした。
- ・挨拶がきちんとでき、気持ちよく感じました。
- ・表情が明るく、のびのびと学習していました。しっかりあいさつができ、おだやかな表情・様子だった。
- ・明るい印象を受けました。
- ・とても良いあいさつも出来ており、のびのびとした感じにほっとした様な気持ちです。今どきの勉強は自主性を重んじている事が良く解りました。
- ・今回の視察だけでは、よくわからない。
- ・地域性から、落ちついた生徒が多く、明るく元気な挨拶が聞こえてすばらしかった。
- ・小規模ならではの伸び伸びとした様子でした。
- ・あいさつもしっかりしており、健康的な印象を受けました。

○教室等の雰囲気（配置や動線）

- ・校舎は 9 学年一緒が良いと感じます。五霞町で実現させるとしたら中学校に小学校の低学年棟を作ることが良いと思います。
- ・ジュニア棟では様々な目的の部屋があって良かったです。
- ・異学年が同じ階なので、それも良い影響を与えているのかな？と思いました。
- ・ふれあいコーナーの設置に好感が持てた。（教室とは違った空間のスペースが良い。）
- ・ランチルームは、とても理想的である。
- ・図書室の雰囲気がよい。（あたたかい感じが伝わってきました。）
- ・校内に写真の展示が多く、とてもなごみました。
- ・少人数の為か、全体的に落ち着いているような気がしました。
- ・小学生と中学生の境がなく、小・中の壁を感じにくい。
- ・工夫がこらされている印象でした。
- ・バルコニーから直接校庭に出られるのは良いと思いました。
- ・新しく清潔感があって良いと思いました。
- ・少人数ながらお互いを見ながら意見を聞き答えを言うとてもいい感じであったと思います。
- ・今回の視察だけでは、よくわからない。
- ・ジュニア棟のテラスと、そこに設置された下駄箱がユニークでした。
- ・清潔で良かった。
- ・統合した各学校の歴史を大切にしていると感じました。
- ・黒板等、備品が最新のものが置かれていた。
- ・1～4 年生（1 階）の洗面・トイレの雰囲気が明るく素敵でした。

○先生方の雰囲気・様子

- ・アットホームな雰囲気でした。
- ・中学生のクラスでは、活気のある先生の授業に生徒達もいきいきしている姿を見ることができた。
- ・小学生のクラスの先生は、静かな指導で、生徒との距離が近いような気がしました。
- ・少人数ということもあり、全生徒、児童を把握でき、あたたか味を感じた。地域住民と共に子どもたちを育てている様子を感じた。
- ・特別な印象はありませんでした。
- ・教頭先生や教育委員の方そして校長先生だけでは有りましたが、熱心に説明を戴き感謝です。
- ・今回の視察だけでは、よくわからない。
- ・どの学級の先生方も、明るく意欲に充ちた指導をされていた。
- ・職員室の雰囲気は把握できなかったが、横のつながりのもち方を伺いたい。
- ・全教科の指導には、単学級で確保が難しいであろう。
- ・新たな教育に熱意を感じた。
- ・特色ある教育活動や、新しい体制に一生懸命取り組んでいるのを感じました。
- ・1～9 年生の先生方が、職員室で共通認識をもてることは、素晴らしいと思います。

○その他・全体として

- ・方向性を決定した後、準備が大切であると感じた。
- ・準備期間をしっかりと取って進めていく必要がある。
- ・少人数ならではのメリット・デメリット（課題）をよく見て、今後検討していきたいと思います。
- ・先生方がとても熱心で、勉強されている感を強く実感しました。
- ・今回の視察をさせていただき、今後の動きについて学ぶことができましたことに感謝致します。
- ・地域と学校の結びつきが強く、ひらかれた（オープンな）学校で、子供たちも安心して、通学・学習ができていると感じた。
- ・学校その物もきれいでしたし、昔ながらの歴史のある学校である事をきちんと残し子供達に常日頃から話していると思うと、他人事ながら嬉しく成りました。ただ自分自身も少し勉強して行くべきであったと後悔しています。又、他の学校も研修の機会が有れば是非参加したいです。
- ・五霞町には、江戸川小中学校が感じていた危機感がないと感じる。
- ・検討のスタートに違いがありすぎる。（進め方が五霞になじむのか疑問である。）
- ・施設のあり方としては良いのかもしれないが、単純に人数が増えることが良いことなのかは疑問である。
- ・特別支援学級が未開級とのこと。その対策として、算数・数学は熟練度別に少人数指導で行っている。自情や言語に障害のある子どもへの対応が求められるのではないか。
- ・1年～9年生まで一緒に学び生活する「縦割の良さ」が強みであるという話が印象的でした。
- ・地域の協力が欠かせない、という実感があります。
- ・児童・生徒数の増加による駐車場問題は、たしかに重要です。
- ・5年後、10年後のいろいろな可能性を考え抜いて、結果を出すべきと思いました。

五霞町立学校のあり方検討会

五霞町立学校視察報告

- 1 日 時 令和元年 12 月 16 日（月） 午後 1 時 00 分～午後 3 時
五霞町立五霞東小学校 午後 1 時 10 分～午後 1 時 40 分
五霞町立五霞西小学校 午後 1 時 50 分～午後 2 時 20 分
五霞町立五霞中学校 午後 2 時 25 分～午後 2 時 55 分
- 2 視察内容 施設見学
- 3 視察人員 五霞町立学校のあり方検討会会員 13 人（うち各校長は各校にて視察対応）
五霞町教育委員会 教育長 事務局職員 3 人 合計 17 人
- 4 会員への配布物
 - ・意見記入用紙
 - ・各校配置図
 - ・各学校要覧
- 5 視察の流れ ①最初に外で施設全体の説明（配置図も見ながら）
②低学年、中学年、高学年それぞれ 1 クラス程度を静かに視察。
③特別教室、体育館等の確認。

（五霞町立五霞東小学校）





(五霞町立五霞西小学校)



(五霞町立五霞中学校)



会員の皆様からの感想

各校の施設全体や教室、児童生徒などについて、気になったこと・知りたいことを自由に書いていただきました。

○五霞東小学校

- ・周囲に色々できて、交通量が増えてきていると思うのですが、通学路は保護者から心配の声はないのでしょうか？危なくないのでしょうか？
- ・あいさつができていて良かった。
- ・休み時間を見ることができたが、授業の様子をみてみたいと思った。迷路のようだった。
- ・建物・教室の動線が悪く感じた。古い感じがした。
- ・子供たちは元気いっぱい、あいさつもしっかりでき、建物とは、正反対だと感じた。
- ・みんな元気にあいさつしていてハツラツとしていました。
- ・白アリなどの虫の発生や校舎の古さが気になった。
- ・児童数が少なく、児童の声がきけないので残念。
- ・周りの環境が様変わり、何が良いか検討時期ではないか。

○五霞西小学校

- ・木をふんだんに使用したり、カーペットがしいてあったりあたたかい雰囲気良かったです。
- ・学年によって荒れている学年もあると聞いたのですが、どうなのでしょう？
- ・木が多くつかわれていてとてもあたたかい様子でした。
- ・体育館が綺麗でした。
- ・東小よりも広く感じた。
- ・木がたくさん使われ、ぬくもりを感じた。
- ・落ち着く昔ながらの校舎の雰囲気を感じた。
- ・社会の変化するスピードが早く、子供をかかえる保護者にとって切磋琢磨するためにも児童が多い方が良いのではないか。

○五霞中学校

- ・音楽室がすばらしかった。
- ・教室等の配置が分かりやすかったです。
- ・木が多く使われていて、校舎の雰囲気が西小学校と統一感があった。
- ・掃除がしっかりしてあり、綺麗でした。
- ・B&Gと隣接している環境は良いと思った。
- ・図書室にまんががあるなど時代の違いを感じた。
- ・利活用されない教室を専門職育成の場としてはどうか。そして五霞町にもどって活躍してほしい。

○その他・全体として

- ・東西小・中ともに校長先生を中心に先生方が一生懸命指導されているのを感じました。
- ・各校とも小規模校であると思いますが、それぞれ小規模校としての特色と困っているところは何か。
- ・各学校それぞれの個性を感じました。

- ・小中学校とも綺麗に整っている。春日部市立江戸川小中学校もそうだったが、教室内も掃除されており、ヘルメット、靴も整理整頓されている。
- ・掲示物も各教室とも非常に丁寧でした。低学年や中学年も整っていて、先生方が細かいところまで気配りされ、学級運営できている。
- ・どの学校の子どもたちも、挨拶がしっかりできていた。
- ・各クラスの児童生徒が少ない。かつては大人数だったが、児童生徒数が少なくなると管理が大変なのではないか。過剰な設備を抱えている。過剰な設備については、大手企業でも足を引っ張ってしまうので撤退する。町民人口も減少していて、今後も少子化が進むことも考えると重大な課題となる。空いたスペースをどう活かすか。
- ・この先中学校を卒業し、高校、大学と進学するが、高校は埼玉、大学は埼玉や東京が多いと思う。地元就職しないで、そのまま都心に職を求め、住まいもそちらになってしまい、ますます人口減につながる。人口減が留まらないのではないか。
- ・今の施設が現状と合わなくなる。統廃合、どういう風に見直していくのかが重要になる。
- ・人数が少ないなら少ないなりの教育、問題もいい面もある。
- ・競争原理に則った力も鍛えていかないとならない。逞しさをどう育てていくか。今は少人数なので先生の目は行き届く。社会に巣立ったとき、小中学校時代は非常に大切である。少人数で果たして育てられるのか。
- ・強く逞しい子を育てるべきである。
- ・PTA も昔は緊張感があった。少子化により保護者も少なくなり、役員をする頻度も多くなる。教師と保護者がお友達のようにになってしまうのも問題で、ある程度緊張感が必要ではないか。
- ・現在の施設を使用していてよいところともう少し充実してほしいところは何ですか。
- ・もし統合をした場合、続けていきたい活動は何でしょうか（中学校も）。
- ・2 クラスを作るための人数の規約を変える事は出来ないのか？
- ・小中一貫校や義務教育学校となったら、学校として力を入れたいことはなんですか？

第2回五霞町立学校のあり方検討会会議録

日 時 令和2年1月28日（火）
午後1時30分から午後3時5分まで
場 所 五霞町中央公民館 青少年研修室
出席者 五霞町立学校のあり方検討会会員 19名
会議ファシリテーター普及協会五霞支部 2名
政策財務課 2名
教育委員会 教育長 事務局職員 4名

会長を始め、当検討会会員から話合いに重点を置いた会議を要望いただいたことから、第2回検討会は、ファシリテーションを活用した会議の進行等で活躍されている会議ファシリテーター普及協会五霞支部に進行を依頼しました。

司会、進行：会議ファシリテーター普及協会五霞支部 2名

1. 開会

2. 挨拶 会長

本日の進め方について説明

3. 協議事項

(1)五霞町の現状について 政策財務課から説明

- ・中期財政見通しについて
- ・五霞町公共施設等総合管理計画個別施設計画について

(2)これまでの活動について 事務局から報告

(3)グループワーク

テーマ「中学卒業時、どんな子どもになっていてもらいたい？」

4. 事務連絡 （第3回は3月27日午後1時から開催予定、アンケートは案のとおり実施、検討会で決める範囲のイメージについて）

5. 閉会

グループワーク テーマ「中学卒業時、どんな子どもになっていてもらいたい？」
で出た意見



幸せ

幸せ

幸せな人生を歩んでほしい

本気

本気で取り組む

芯

真面目に頑張れる子

夢

将来について考えをもつ子

夢をもっている子

高校生

自立

自分の意見を言える子

自発的

自立している子

何でも話せる関係性

自分に自信を持つ

感謝

感謝の心

親に対して感謝の心を持てる子

人の役に立ちたいと思える子

協力的

優しく人の気持ちが分かる子

明るい子

人に優しい子

思いやりのある子

思いやりのある子

元気ハツラツ

元気ハツラツ

笑顔の多い子

健康な子

たくさんしゃべる子

好き嫌いのない子

やる気元気

忍耐力

根気強い子(がまん)

友達

友達いっぱい

異性に対して気を配れる子

周りの様子を見られる子

心



郷土愛

郷土を愛する

誰か 1 人町に残る (兄弟の中で)

郷土芸能などを続けてくれる

思いやり

人に親切である子

善悪の判断できる子

道徳性のある人

思いやりのある子

学力

学力のある子

勉強は普通には出来る子

努力する子

やさしさ

優しい子

優しい

心根の優しい子

明るい

あいさつのできる人

たくましさ

バイタリティあふれる子

たくましい子

たのもし

健康 (丈夫)

健康の子

社会性

社会性のある人

堂々とした

前向きに考えられる子

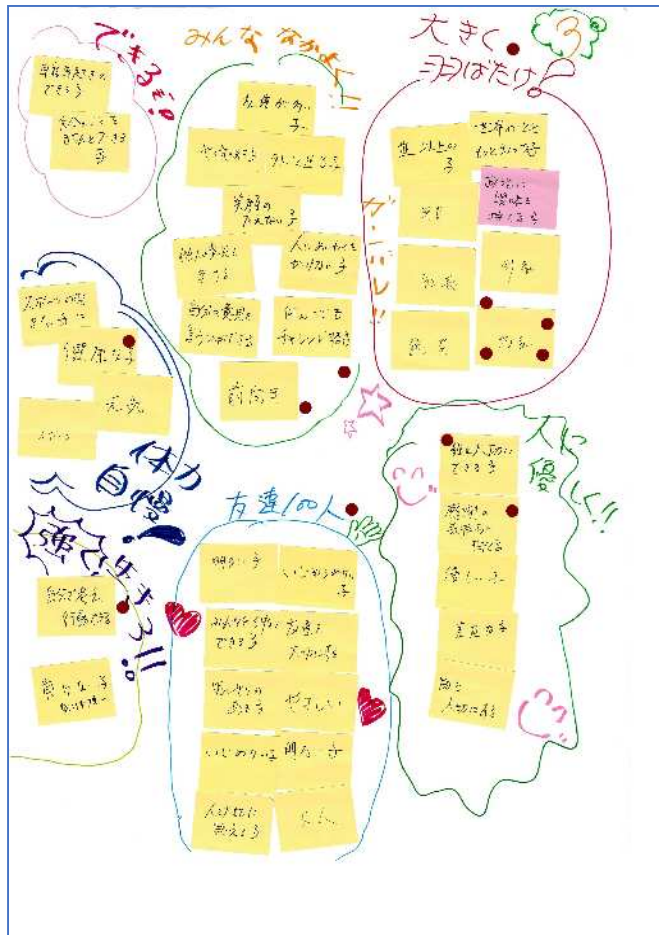
物事がはっきり言える子

誰とでも仲良く出来る子

だるまさん

打たれ強い子

相手の立場に立って物事が考えられる



できるぞ！

早寝早起きの出来る子

自分のことをきちんと出来る子

体力自慢！

スポーツの好きな子に

健康な子

元気

スポーツ

みんななかよく!!

友達が多い子

やる気がある子

外に出る子

笑顔のたえない子

他人の意見を聞ける

人に迷惑をかけない子

自分の意見を言うことができる

何にでもチャレンジする子

前向き

大きく羽ばたけ！

世界のことをもっと知ってる子

並以上の子

医者

政治に興味を持てる子

社長

町長

議員

先生

人に優しく!!

親を大切に出来る子

感謝の気持ちを持てる

優しい子

素直な子

物を大切にする

友達 100 人

明るい子

いじめられない子

みんなと仲良く出来る子

友達を大切にする

思いやりのある子

優しい

いじめない子

明るい子

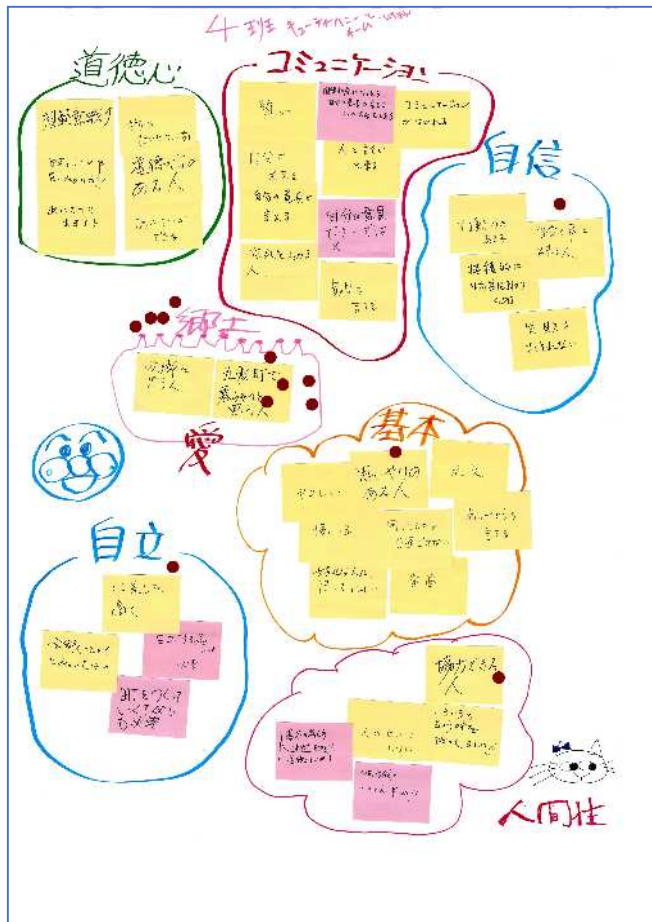
人を大切に思える子

友人

強く生きろ!!

自分で考え行動できる

負けない子 負けず嫌い



道徳心

規範意識 ↑

物を大切にする

自分のしたい事をみつける!!

道徳心のある人

あいさつの出来る子

あいさつができる

コミュニケーション

賢い

国際社会になったら自分の意見が

言えることが大切だと思う

コミュニケーションが図れる

自分で考える

人と話が出来る

自分の意見が言える

自分の意見だけ…では×

空気を読める人

意見を言える

自信

行動力のある子

自分の事は出来る人

積極的に物事に取り組める

失敗をおそれない

基本

優しい

思いやりのある人

元気

優しい子

困ってるのを見過ごさない

ありがとうと言える

好きな人は思っしてほしい

素直

郷土愛

故郷を思う人

五霞町で暮らそうと思う人

自立

志を高く

金銭感覚を磨いてほしい

自立するためには必要

町を作っていくためにも必要

人間性

協力できる人

道徳心は基本の考え方 これが大切だ!

人のせいにしない

色々興味を持ってほしい!!

人間形成上一番大切!!

会員の皆様からの感想

子供の事を思うとこのままではいけないという思いがあり、あり方に参加させてもらっています。子供の事を思えば思う程、もっと突っ込んだ本音の話合いが出来れば良かったと思いました。ファシリテーションははじめて体験しましたが、堀山さん関根さんの進行、大変すばらしく楽しいものでした。

どんな五霞っ子になってほしいのかという大人の気持ちは共通理解できた。

学校のあり方検討と今日の会議の関連がわからない。あり方検討が前進していると思えない。

他人の意見を尊重して聞く姿勢は楽しい。生きる意義「幸せ」な人生を歩む、そのため日々の努力。ファシリテーターが good でした。

他者の意見を傾聴する姿勢を持つと、どんどん新しい意見が生まれるポジティブな連鎖がおもしろかったです。

将来ある子供達が良い環境の中で学べたら良いのでは！！

大変面白く話合いが出来ました。皆考えている事は1つ、五霞町への愛、郷土愛としました。住み良い五霞町になる様、子供達が幸福に暮らせる五霞町になる様、微力ながら頑張りたいと思いました。

楽しく意見交換ができて良かったです。誰もが子ども達に願う事は共通していると思いました。とても有意義な時間を過ごすことができました。

初めてだったので、貴重な体験になりました。普段話さない方々ともお話できたので楽しかったです。

今回のグループ別の話し合いにより、今までお話しできなかった方と向き合えることができ大変ありがたかったです。テーマについて真剣に考えることができたり、他の意見も十分に聞くことができよかったです。笑うことができる会議は最高ですね。

片寄らずにみんなが発言できて良かったと思います。今日の素材を何にいかすかも重要。今後のこの委員会のためのアイスブレイクになったと思います。

時間が短いのでは？皆さんの意見をどういかしていくかが問題ではないか。若い人の意見が大切。

今日、ワークショップをやって楽しかった。

具体的な話の検討ではなかったなので、少し疑問です。統廃合に向けての問題点等の話し合いをするものかと思っていたので・・・

ただ話をきくだけでなく、他の人の意見や考え方をきくことができて良かったです。五霞町を“愛”している人が多くてとってもうれしかったです。

明るい雰囲気で色々話しやすかったです。ふせんに気軽に意見を書くので、自分が思っていることを表出しやすいです。グループも年齢層が様々なので色々な意見があり、とても良かったです。

若い人の意見が聞けて良かったです。皆さんが町を良くしたいということがわかった。今までは人の意見をあまり聞けなかったが聞くようにしたい。

子どもたちが中学卒業時になってほしい姿・・・今後の小中学校のあり方を考える上でとても参考になりました。誰もが大人は子どもたちは幸せな人生を歩んでほしいと願っているはずです。そのために身に付けなければならないこと・・・そこを具体的にすると良いですね。楽しく有意義な時間が持てました。ありがとうございました！

意見を汲み上げる術としては素晴らしいものがある。全体的には時間がもう少し必要。意見、考えは集められたが、この声をどう集約し生かすのでしょうか。時間的に短いので、内容（中身）について議論出来ない面があるのでは？

五霞町立学校あり方検討会の進め方について、現在の案イメージ(たたき台)を示します。

五霞町立学校のあり方検討会

令和元年10月～令和2年10月(全5回) ○印:検討会第○回
①令和元年10月30日 ②令和2年1月28日 ③3月27日予定 ④6月予定 ⑤10月予定

1. 現状の把握

五霞町の学校教育①
町内三校の現状①
保幼小中連携・接続推進①

町内三校視察

五霞町の財政見通し②
五霞町の公共施設等②

2. 児童・生徒像の共有

★なっていてほしい姿②

3. 町民の想い・ニーズの把握

児童・生徒アンケート
保護者アンケート

4. 望ましい教育環境などの検討

それを実現するために検討すべき事項(課題)の洗い出し

江戸川小中学校視察

教員アンケート

○学校運営・教育指導

・④
・⑤

○学校・施設形態

小中一貫校、義務教育学校③
施設形態(隣接・分離・一体型)
・④

○その他

・④
・⑤

あり方検討会では、主に

(1)学校・施設形態を整理し、判断材料をまとめる
(2)準備委員会(仮)で検討すべき事項(課題)を洗い出す
(3)(1)と(2)を踏まえ、実施目標時期を示す

学校・施設形態について、検討会で傾向が見えるようにする

(1)～(3)について(案)をつくり、総合教育会議へ具申する

総合教育会議

令和3年1月頃

準備委員会(仮)

令和3年4月～

「あり方検討会」でまとめられた(案)について協議し、最終決定する！

決定した教育環境に向け、各事項(課題)の詳細について、検討し決定する。